

証実験を行う。ゼロスペックが開発したスマートオイルセンサーと、自動発注配送管理システム「GONOW」を利用し、データを集めて効率化につなげる。2月19日、同社が発表した。

市内公共施設30カ所の屋

外灯油タンクにセンサーを設置し、灯油残量を遠隔で確認できるようにする。このデータを基に、ミナミ石油がGONOWで配送計画を自動で作成し、燃料を届ける。

これまで、灯油タンクの残量を確認するには設置先に直接出向く必要があり、効率面で課題があった。実

験を通じて、こうした点の

解決を目指す。配送車両からの二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出量削減や、発注業務の最適化にもつなげる。札幌市と周辺の市町村などによるスタートアップ支援事業の対象に採択されている。

(朽木崇洋)

ゼロスペックなど

## 灯油配送最適化へ実験

ゼロスペック(多田満朗

ミナミ石油(大塚和男社

社長、札幌市中央区)と札

長(東区)は2、3月、灯

幌市、石油製品販売などの

油の配送最適化に向けた実